

～命を守り、将来世代を応援する県づくりに向けて～

令和元年東日本台風災害からの復旧・復興とその教訓をいかした災害に強い県土づくり、
気候非常事態宣言を踏まえた取組に重点を置き、しあわせ信州創造プラン2.0を着実に推進します。



予算総額 **9,476億8,660万7千円**

令和元年度
当初予算比

+617億1,349万7千円 (+7.0%)

重点
政策

1 命を守る 県づくり

- 東日本台風による被災者の生業支援のため、被災中小企業等の施設や設備の復旧費用を助成…………… [66億142万1千円]
- 災害や雪不足、海外旅行者の減少などで落ち込んだ観光需要を喚起するため、地域の観光振興策等を支援…………… [1億円]
- 県全域で河川、道路、砂防、治山、農業用施設等の防災・減災対策を強化…………… [819億3,175万5千円]
- 中小河川等の浸水想定区域図を3年間で緊急的に作成して、地域の防災対策を推進…………… [4億4,582万3千円]
- 気候変動の危機感を県民と共有するため、ゼロカーボンミーティングや信州環境カレッジ講座等を実施…………… [3,737万7千円]
- 医学生修学資金の新規貸付者数の増員や地域医療人材拠点病院に対する支援の拡充により、医師の確保・定着を推進…………… [5億5,732万円] など

重点
政策

2 将来世代を 応援する 県づくり

- 「探究的な学び」等の基盤となる校内無線LAN等を全ての県立高校・特別支援学校で整備…………… [36億171万6千円]
※2月補正(国補正対応分)を含む
- 困難を有する子ども・若者の学習機会を確保するため、通信制高校サポート校利用生徒のいる低所得世帯への助成制度を新設…………… [2,310万円]
- ひきこもり家庭と相談支援機関をつなぐ伴走型の支援コーディネーターを県内4か所に新たに配置…………… [1,144万8千円]
- 専門の相談員による個別相談・研修と職場実習で就職氷河期世代等の就労を支援…………… [2,658万2千円]
- 障がい者スポーツ文化の定着を目指し、競技大会の開催など「パラウェアNAGANO」プロジェクトを推進…………… [3,937万2千円]
- 外国人が理解しやすい日本語の普及など、外国人と共に学び、共に活躍できる地域づくりを推進…………… [1,177万2千円] など

重点
政策

3 時代の変化に 即応した 産業・地域づくり

- IT人材・IT産業の集積を目指す信州ITバレー構想を実現するため、先進的なプロジェクトへの重点支援や国内外への情報発信・プロモーションを実施…………… [3,208万8千円]
- 農業現場へのAI・ICT技術の導入やドローンによる森林資源分析・管理を支援…………… [3,503万3千円]
- 創業支援拠点を松本市に新設し、新たな価値を創造する創業を支援…………… [2,292万4千円]
- 「HAKUBAVALLEY」(ハクババレー)の魅力発信や、観光客がストレスフリーで楽しめる受入環境の整備を支援…………… [2,000万円]
- 県と市町村の情報システムの共同化などスマート自治体の実現を加速…………… [1億4,511万8千円]
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、都内に設置する「NAGANOウェルカムハウス(仮称)」等により、長野県の食、物産、観光を一体的にPR…………… [2,512万6千円] など

